

DXを推進するためのデータサイエンスへの入り口【オンラインライブ】（4125032）

DXの推進に必要な不可欠な「データ分析」を行うための基礎的な知識とデータの加工法、ソフトウェアがアウトプットした内容の解釈の仕方を学びます。フリーの統計分析ソフトウェアと、実際のマーケティング調査データを使って、代表的な各統計手法を身に付けることができます。「学問」としての統計学ではなく、施策策定につなげるデータ活用の「ツール」として統計分析の技法を体得します。

開催日時	2025年9月29日（月） 9:00-16:00ライブ配信
JUAS研修分類	データ・AI活用・技術動向(データサイエンス)
カテゴリ	IS活用 <a href="#">専門スキル</a>
DXリテラシー	What(DXで活用されるデータ・技術)：データ How(データ・技術の活用)：活用方法・事例 Mind(マインド・スタンス)：新たな価値を生み出す基礎としてのマインド・スタンス
講師	久保田真人 氏 (M&Mコミュニケーションズ有限公司 代表取締役) 東京都出身 1962年生まれ 東京大学農学部農業経済学科卒業 都市開発シンクタンク、マーケティングコンサルティング会社を経て、2004年より、M&Mコミュニケーションズ（有）代表。統計学、心理学を応用したマーケティング分析手法の開発及び教育を得意とし各クライアント課題解決のための調査設計・実施・分析に約30年携わっている。
参加費	J U A S 会員/ITC：35,200円 一般：45,100円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	オンライン配信（指定会場はありません）
対象	統計知識はないがデータ分析をしてみたい方 必要最小限の統計手法を身に付けたい方 <a href="#">中級</a>
開催形式	講義・個人演習
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
特記	*統計ソフトHADを演習で扱います。ダウンロード可能なPCをご準備ください。http://norimune.net/had
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態

ライブ配信（Zoom ミーティング） [【セミナーのオンライン受講について】](#)

■テキスト

開催 7 日前を目途にマイページ掲載

■開催日までの課題事項

統計ソフトHADを演習で扱います。ダウンロード可能なPCをご準備ください。

演習データ・ツールダウンロードについては、開催 1 週間前を目途にメールでご連絡します。

現在、各企業でDXの推進が求められ、そのために必要なデータサイエンスに関する様々なアプリケーションやサービスが提供されています。しかし、いざ自社のデータを活用してみようとする、そういったアプリやサービスがアウトプットしてくれる様々な指標をどう解釈し、どのように施策策定につなげていくのかが分からなくなってしまう事態が多く見られます。

いくら高機能なソフトウェアを導入し、大量のデータを準備したとしても、そこから導かれるアウトプットが自社の課題に沿った形で解釈できなければ、そのソフトウェアもデータも無用の長物です。

ビジネスにおける「データ分析」では、統計学や機械学習の体系を学ぶことではなく、それらの技術を「ツール」として使いこなすことが重要になります。

特にDX推進においては、「データ分析」を生業としている部署に限らず、あらゆる部門、部署において「ツールを使いこなすこと」が求められていくでしょう。

本セミナーでは、ビジネスの現場で発生する「課題」を起点にし、その「課題」を解決するために必要最小限の統計分析手法を身に付けることを目標とします。

そのために「学問」としての統計学の理論学習などは大幅にカットし、「ビジネスで必要な指標の出力とその解釈」に焦点を当てます。

具体的には、多岐にわたる統計分析手法を「比較」「相関」「因果」「分類」の4つに分け、それぞれの代表的な分析手法のオペレーションと結果の解釈の仕方を学びます。

ソフトウェアとしてはフリーソフトでありながらアカデミックな現場での使用実績が高く信頼性の高いアプリを使用しますので、安心して現場で活用できるでしょう。

「統計知識はないがデータ分析をしてみたい」「必要最小限の統計手法を身に付けたい」と考えている皆様の参加をお待ちしております。

<<内容>> \* 内容は変更になる可能性があります、ご了承ください。

1. データサイエンスのプロセス

1) 分析に必要な力

2) データから施策までのアプローチ

3) 求められるアウトプット

## 2. 分析手法

- 1) 比較 (T検定、ノンパラメトリック検定)
- 2) 因果 (重回帰分析、ロジスティック回帰分析)
- 3) 相関 (因子分析、コレスポンデンス分析)
- 4) 分類 (クラスタ分析)

## 3. 演習 (統計ソフトHAD)

テストデータを使った演習

\* 統計ソフトHADを演習で扱います。

ダウンロード可能なPCをご準備ください。

<http://norimune.net/had>

### ■参加者の声

実務に沿った内容で分かりやすい説明だった。

DX推進の方法・前提知識を得られるセミナーだった。

統計という魅力的だがとっつき難い分野に関して上手くハードルを下げte導いてくれた。